



○ 本校の講義

私はいろいろな授業を見学させていただく立場なので、よく教室を回っていきます。それぞれの講義は専門の講師が担当していますので、奥の深い話を聴いたり、おもしろい活動に参加したりすることができます。前にも記述しましたが、ある程度年齢を重ねた私には若い学生たちには想像できないことが具体的に想像できますので、すごく楽しい充実した時間を味わっています。まさに「役得」ですね。ある日の3つの授業を紹介します。

「子どもの食と栄養」では、離乳食等の話題でした。2日前に生後3週間の孫が退院するので、私はそのお手伝いに出かけました。まさにこれから“人間になろうとしている”その子の姿を思い出しながら聴いているとき、「不思議な偶然だなあ。」などということも心の中で思っていました。子どもの食といっても千差万別、小食・大食といろいろでしょう。我が子の時は食が細くて食べさせるのに時間もかかりましたが、初孫は“大丈夫?”というくらい食べます。二人目の孫は今後どうなるのだろうか楽しみをしています。



医療事務の「ビジネスマナー」では「自分のアピール」「短所は長所」などの内容でした。「器用貧乏」のことを書いた KOCHO だよりを思い出し、本教室の受講生の皆さんに自己紹介を兼ねて配布してみました。縁あって4か月間同じ校舎で勉強する仲間となったわけですので、できる限りの支援をしていければと思っています。ちなみに孫の退院の時赤十字病院に行ったのですが、受付等で働いていらっしゃる方々を見ながら、「受講生の皆さんもこのような仕事に就かれるのだな。」ということも思っていました。病院などの受付窓口などの仕事はその施設の第一印象になります。明るく雰囲気の良い施設のイメージづくりにかかわれるということはすごくやりがいのある仕事だろうと感じました。仕事ですから時にはたいへんなこともあるかと想像しますが、前向きに従事できるといいですね。



「レクリエーション演習」では佐藤 年という方が書かれた「心ばえ」という文をもとに「おもてなし」のことなどについて学びました。「サービス」と「ホスピタリティ」の同じところ違うところを比較しながらの分かりやすい説明がありました。レクリエーション支援では後者の方の意識が大切であるというような内容でした。かつて話題になった「お・も・て・な・し」というのはどちらかという「サービス」の方かな?いや、やはり「ホスピタリティ」かな?そのあと集団で体を動かしながら楽しみながら大切な学びを実感していきました。その講義にも全部参加したかったのですが、ほかの講義も見逃せなくて困りました。



写真のバラは本校および本たよりとは全く関連のないものですが、あまりに美しかったので紹介してみました。

山陽道福山 SA にて

自校自賛

「子どもの食と栄養」は2年生の授業でした。私の孫のことをちらっと紹介したところ、さすがは保育士をめざしている学生たちですね。すぐに興味を示して、「男の子?女の子?」などと聞いてきます。保育士としての資質を十分にもっている本校の学生たちです。